



人権学習を通して 考えたこと

2年生



2年生は資料を使って「決めつけ」や「思い込み」が、偏見や差別へと発展することを理解し、決めつけや思い込みによって人を判断するのではなく、その「ひと」を理解し、認め合おうという学習を進めました。

今回は2年生の学習と考えたことを紹介します。
(文章は一部編集しています)

大宮中学校では、6月に人権学習をしています。全校のテーマは主にいじめや差別についてです。

いじめの構造(1年生)、いじめはなぜ起きるか(2年生)の学習に加えて、今年度も「新型コロナウイルス感染症に関する偏見・差別」についての学習を全学年で進めました。

今回は2年生の学習と考えたことを紹介します。
(文章は一部編集しています)

《2年生の学習テーマ》

決めつけや思い込みという「固定観念」が、偏見や差別へと発展していくことについて



1:35 / 3:40



☆普段自分がとっている行動・発言が相手に不快な思いをさせているかもしれないと考えて、日常生活を思い返して、そう思われたいためにも一つ一つの発言・行動に気を付けて生活していきたい。この人は苦手だから、この人は好きだから、ではなくて、人間は皆平等だし、人によって態度を変えたりせず、誰にでも同じ態度で接していけるようにしたい。自分も直さないといけないところがあるので、そこを直していきたい。いじめを見たら、見て見ぬふりをせず、止めに入れるようにしたい。まずは自分がいじめに関わるようなことをせずに、いじめられている側の味方になりたい。(2組)

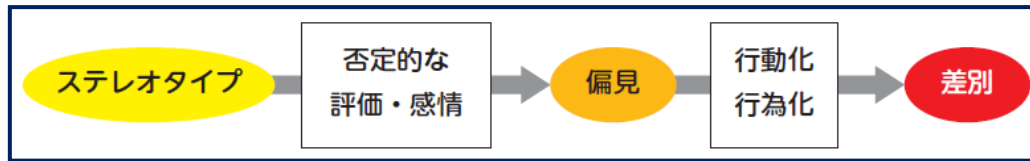
☆今日まで偏見をしたり、差別したりしている人に対して、その人はどう思っているのか考えもしなかった。偏見や差別をされている人の気持ちになって、その人をどう守るか、偏見をなくするにはどうすればいいのか考えることができた。

偏見をしている人は自分がその人の気持ちになって考えてみるのが大切!

自分もそのことを考えて行動していきたい。(1組)



偏見や差別を生まない力を磨こう！



☆私はこの人権学習で、相手の気持ちを想像してもし自分がそれをされたらどう思うか、しっかり考えることが大切だと学びました。自分の言動を見つめなおして、自分がされたらイヤだなと思うことはしないように心がけようと思いました。また、それぞれが一人一人違う良さを持っていて、その良いところをたくさん見つけて、たくさんの人のことを知ろうとしていくことも大切だと思いました。良さをたくさん見つけることでお互いがいい関係をこれから築いていけるのではないかと思います。（3組）

☆これまでの人権学習で、一番身近に思ったことは「偏見」についてのことです。自分は「偏見している」という自覚はないけど、偏見されている側は心に傷ができていられるかもしれないことがわかりました。偏見の話だけでなく、感染症やいじめの話にも共通していえるのは、「相手の気持ちを想像することがとても大切」だということです。相手を思いやる気持ちがみんなにあれば、きっといじめはなくなると思います。（1組）



☆今日までの人権学習を振り返って、一番印象に残ったものが、最初にしたアンケートにあった「いじめについてどう思いますか」という質問に対して、「いじめられる方にも原因がある」「場合によってはしかたないときがある」と回答した人がいたことです。驚きました。そういう回答をした人の気持ちは、はっきりとは分からないけれど、「いじめ」をなくすにはその考えを変えない限り、何も変わらないと思う。今日決めたクラスでの人権宣言を踏まえ、全員が意識していくことが大切だと思いました。（2組）

☆これまで習った人権学習を通して、改めて人（相手）の気持ちを考える、大切にすることができたなと思いました。みんないじめのことについて聞かれると「相手の気持ちを考えたら防げる」などと言うことはできます。でも言っているだけであって、しているという人は少ないと思います。学校の中だけでも、本当にそんなこと言って相手が悲しまないのかを考えていないような言動があります。言うのは簡単、思うのも簡単。でも、行動に移すのは難しい。だから知らず知らずのうちに「いじめ」が起きるんだと考えます。時間はかかるかもしれないけど、普段から意識することで段々と改善すると思います。まずは僕がその第一人者になりたいです。（3組）

